

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-228	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅡ 343	NEW EDITION UNICORN English Communication 2		

## 1

### 編修の基本方針

教育基本法第2条に示された目標を達成することを目指し、以下の諸点に留意した。

各課の学習目標が明確に分かるように本文冒頭に TARGET を3つ提示し、4技能を通じて目標に達成するためのさまざまな活動を用意した。

題材や内容の選別にあたっては、学習者一般の生活環境に合うと同時に、全体のバランスにも留意した。題材にはエッセー、物語、説明文、論説など多様な形式の英文を選定し、その内容についても職業、時事問題、異文化、資源、伝記、科学、文学、環境など広く各部門に及ぶように留意した。国内外を問わず、かつ特定の分野や思想に偏らないよう留意し、多様なものの見方や考え方を育み他国の文化を尊重するグローバルな視野の獲得を目指した。

## 2

### 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>LESSON 1</b> ■ Accessibility for Everyone 中学生のときに事故で視力を失った女性が、障害に屈することなく、むしろ障害者ゆえにできることを追求し、大きな貢献をする。視覚障害者にもアクセス可能な情報ツールを開発するなど、国内外で活躍が注目されている浅川智恵子さんが人生を語る。	障害を持ちながらも国内外で活躍する女性の話を読む。多様な生き方や考え方を学ぶと共に、自らの将来について考える契機となるよう、冒頭の課に配置した。(第1号)(第2号)(第3号)	8~21 ページ

<p><b>LESSON 2</b></p> <p>■ The Problem We All Live With</p> <p>1960年のアメリカ。公民権運動が実を結び、白人だけが通う小学校へ黒人生徒が編入されることになった。その女子生徒ルビーが事件とその後の人生について語る。</p>	<p>子供時代に人種差別が変わろうとする大きな歴史の波に巻き込まれた女性の体験を読むことにより、正義や平等について考える。(第3号)</p>	<p>22~35ページ</p>
<p><b>LESSON 3</b></p> <p>■ Eat the “Ugly” Carrot, Save the World</p> <p>味は変わらないのに見た目がよくないという理由で多くの野菜や果物が捨てられている。それによって二酸化炭素が余分に排出されるなど環境に悪影響を与えている。</p>	<p>食物を無駄に捨てることが環境に悪影響を与えるという筆者の主張を読み、食糧問題や環境問題について考える。(第4号)</p>	<p>36~49ページ</p>
<p><b>LESSON 4</b></p> <p>■ Through the Eyes of Imagination</p> <p>私たちが見ているこの世界は決して一様ではない。想像力を働かせれば固定観念が外れて物事を多面的に見ることができる。</p>	<p>だまし絵などを例に挙げて、ものにはいろいろな見方があり、多面的に見ることの大切さについて学ぶ。(第1号)</p>	<p>50~63ページ</p>
<p><b>LESSON 5</b></p> <p>■ More Than a Baseball Team</p> <p>1914年のカナダ。日系移民野球チーム「バンクーバー朝日軍」が誕生した。人種差別に負けることなく目覚ましい活躍をするが、第二次世界大戦の勃発により解散を余儀なくさせられた。</p>	<p>スポーツを通じて、差別に苦しむ人たちに喜びと誇りを与えただけでなく、民族を越えて融和をもたらした人たちの活躍を読む。(第1号)(第3号)</p>	<p>66~79ページ</p>
<p><b>LESSON 6</b></p> <p>■ What Is Uniquely Human?</p> <p>化石では残らない人間の「こころ」はどう進化したのだろうか。チンパンジーの観察を通して人間だけが持つ「想像する力」について考える。</p>	<p>人間とチンパンジーの共通点および差異に関する題材を取り上げ、科学的な思考力を養う。(第2号)(第4号)</p>	<p>80~95ページ</p>
<p><b>LESSON 7</b></p> <p>■ The Power of Choosing</p> <p>選択することは人間にとってなぜ必要なのか。私たちが日々の生活の中で絶えず行っている「選択」の意味について考える。</p>	<p>具体例を挙げながら「選択」することの重要性についての文を読み、自らの人生について考える契機とする。(第1号)</p>	<p>96~109ページ</p>

<p><b>LESSON 8</b></p> <p>■ The Sagrada Família and the 3-D Printer</p> <p>アントニ・ガウディ設計のサグラダ・ファミリア。その複雑さゆえ、今世紀中の完成は無理だろうと言われていたが、今では2026年には完成できると言われている。その飛躍的な工期短縮の秘密は3Dプリンターなどの導入にあった。</p>	<p>他国の有名な建造物と建築家を取り上げ、他国の文化を尊重する態度を養う。(第1号)(第5号)</p>	<p>112~127ページ</p>
<p><b>LESSON 9</b></p> <p>■ The Future of AI</p> <p>近年のロボットの進歩は目覚ましい。はたして人工知能は、人間の知能を超える日がやってくるのか。現在の状況とこれからの展望について考察する。</p>	<p>科学技術の目覚ましい進歩によってわれわれにもたらす恩恵や懸念など、科学的に思考する態度を養う。(第1号)</p>	<p>128~143ページ</p>
<p><b>LESSON 10</b></p> <p>■ Just Enough</p> <p>リユース・リサイクルの徹底で江戸時代の生活は自然環境を破壊することなく理想的だった。彼らがすでに実現していた「持続可能な社会」の様子を読む。</p>	<p>江戸時代の人々の持続可能な社会生活を紹介する文を読むことにより、資源の大切さについて学ぶ。(第5号)</p>	<p>144~159ページ</p>
<p><b>FOR READING</b></p> <p>■ The Dandelion Girl</p> <p>妻の都合が悪くなり、ひとりで夏休みを過ごすことになったマークは、丘の上で「タイムマシンで未来から来た」というタンポポ色の髪が印象的な若い娘と出会う。彼女と毎日会うことが楽しみとなったマーク。しかしある日、彼女は姿を見せなくなった…。</p>	<p>ファンタジー性のある奥深い内容を持つ文学作品の鑑賞を通して豊かな情操を養う。(第1号)</p>	<p>160~175ページ</p>

### 3

## 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

指導要領に示された英語での授業を前提とし、日本語の使用はできる限り避けた。例えば問題の指示文は英語に統一し、教師が英語で問いかけ、生徒もまた英語で答えるように意図し、外国語を通じてコミュニケーションをとる授業の形態を想定した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-228	高等学校	外国語科	コミュニケーション 英語Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
109文英堂	コⅡ 343	NEW EDITION UNICORN English Communication 2		

## 1

### 編修上特に意を用いた点や特色

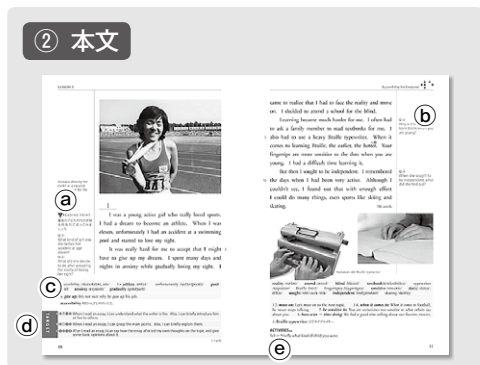
種目名に「コミュニケーション」を冠した教科書として、社会生活の根底といえる他者とコミュニケーションをとる能力の養成に重きを置き、生徒の生きる力を育むことを主たる目標とした。

上記目標の実現のために、コミュニケーションに必要と思われる判断力や表現力はもちろんのこと、外国語を学ぶ以上不可欠である文法や語いなどに関する基礎的な知識及び技能について網羅し、生徒が興味を持って学習に取り組むことができるよう多様な題材や内容を用意した。

教科書の構成は以下のとおりである。

## 1. 正課 LESSONS 1-10 : 各課の構成と特色

**A :** 読解を深め、自己発信へ無理なくステップアップできるよう、さまざまな工夫を加えた。



**① WARM-UP**  
本文を読む前の準備として、本文の内容と関連した写真や絵画とリスニング問題を置き、この課で扱う主題への関心を高めるように意図した。



② 本文	
<b>④ TARGET</b>	本文学習にあたって、本文理解から自己発信へ進む目標として各課に設定した。
<b>⑤ READING POINT</b>	各パートに本文読解にあたって、助けとなるような指針を置いた。
<b>⑥ QUESTIONS</b>	原則として各パラグラフに本文の内容理解を確認するとともに簡単な発信を促すための英問を置いた。
<b>⑦ ACTIVITIES</b>	各パートの最後に、本文の内容に関連して考えたり発信したりする活動を入れた。



③ COMPREHENSION & COMMUNICATION	
<b>⑧ COMPREHENSION</b>	リスニングによる正誤問題と内容理解問題によって、本文全体の理解を確認する。
<b>⑨ COMMUNICATION</b>	本文理解を受け、さらに一歩進める自己発信活動をする。コミュニケーション活動を行うときに役立つ表現を Useful Expressions for Communication として、各課に1項目ずつ設定した。

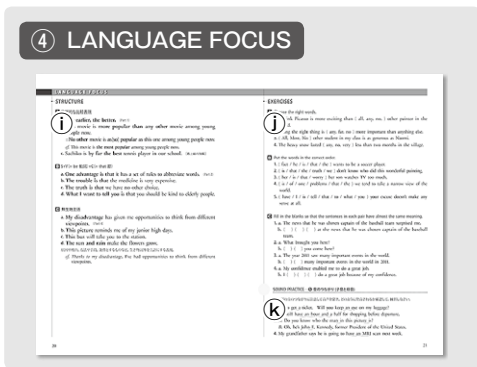
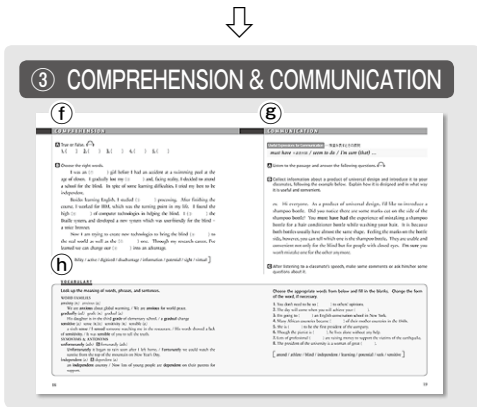
**B :** 語彙運用力の増強—総合力を高めるための工夫を加えた。

② 本文	
<b>⑩ 脚注新出語欄</b>	新出語のうち、ぜひ運用力まで付けたい重要語は太字にしてほかと区別した。



③ COMPREHENSION & COMMUNICATION	
<b>⑪ VOCABULARY</b>	重要語のうち数語を選び、関連語、同意語・反意語をまとめて覚えると共に、自然でよく使われる意味の文を利用した問題を解く。





↓

**④ LANGUAGE FOCUS**

**㊦ SOUND PRACTICE** 高校生に欠かせない発音を整理・練習する場。より英語らしく発音するため、音のつながり、音の脱落、強勢位置の変化などを取り上げた。

**C**：文法運用力の定着—総合力を高めるための工夫を加えた。

**② 本文**

本文中において、その課のポイントとなる新出文法事項が出現した箇所に行間にLマークを置いた。

↓

**④ LANGUAGE FOCUS**

<b>① STRUCTURE</b>	中学校及びコミュニケーション英語Ⅰで既習の事項に当該の課で初出の文構造及び文法事項を加え、体系的に整理した。
<b>① EXERCISES</b>	STRUCTUREで学習した文構造及び文法事項ごとに異なる形式の演習問題を配置し、習得できたかどうか確認する。文法のための文法問題を排し、ふさわしい文の中で習得できるようにした。

## 2. 本課での学習成果をフォローする特別ページと付録

<b>BUILDUP</b> ：全3回。英語を読んだり話したりする力を伸ばすための特別ページ。	
<b>① FOR BETTER READING (1)</b>	読解力を高めるためのリーディングスキル「未知語の意味の推測」「クリティカルリーディング」を置いた。
<b>② FOR BETTER READING (2)</b>	読解力を高めるためのリーディングスキル「スキミング」「スキミング」を置いた。
<b>③ FOR DISCUSSION (1)(2)</b>	文章を読んだり写真を見たりしたのち、自分の考えを整理し、意見を述べ合う活動を置いた。

**FOR READING**：文法事項等を気にせず読むことに集中できる教材を用意した。本文読解後のCOMPREHENSIONでは、物語の内容や登場人物の心情などについて深く考えることを促す設問も置いた。

<b>巻末付録</b> ：参考資料と索引。	
<b>① EXPRESSIONS FOR COMMUNICATION (機能表現集)</b>	全巻を通じてコミュニケーションを行う際に有用な表現を場面別に提示した。
<b>② SENTENCES (重要文構造・文法のまとめ)</b>	各課LANGUAGE FOCUSに置いた例文を、文法項目ごとに整理し直して提示した。暗唱用例文集としても、文法索引としても役に立つ。
<b>③ PHRASE LIST</b>	本文脚注に示した語句をアルファベット順に並べて示した。
<b>④ WORD LIST</b>	本文の新出単語をアルファベット順に並べて示した。 a. 不規則変化語には変化形も掲載、b. -ness, -er, -ing, -ful, -lyなどの最も基本的な派生語のうち主なものを併記、c. 重要語を太字で表示するなど、単なるリストでなく、語彙力増強に役立つ場所とした。

# 2 対照表

## コミュニケーション英語Ⅱの「内容」

- (1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。



- ア 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。
- イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。
- ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。
- エ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
LESSON 1 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(写真の人物の仕事内容を聞いて概要をとらえる) イ(エッセーを読んで概要をとらえる) ウ(エッセーを読んで自分の意見を述べる) ウ(ユニバーサルデザイン製品についてその便利さを紹介する)	8~19 ページ	6
LESSON 2 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(絵の説明を聞いて概要をとらえる) イ(エッセーを読んで概要をとらえる) ウ(関心のある社会問題について客観的な視点で意見を述べる) ウ(日本の選挙年齢について発表する)	22~33 ページ	6
LESSON 3 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(野菜や果物についての内容を聞いて概要をとらえる) イ(エッセーを読んで問題と解決策を理解する) ウ(筆者の意見への同意・反対意見を具体的な理由や例に基づいて発表する) ウ, エ(ファーストフードについて意見を書き，議論する)	36~47 ページ	6
LESSON 4 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(絵の内容に関する会話を聞いて概要をとらえる) イ(ある主題の文を読んで具体例と筆者の主張の関係を理解する) ウ(一つのものに対する複数の見方の例とその背後の視点について説明する) ウ(夫婦別姓について意見を述べる)	50~61 ページ	6
BUILDUP1	イ(ある用語の説明を読んで，その用語の意味をとらえる) イ, ウ(ある主題の文を読んで，論点に対する自分の意見を述べる)	64~65 ページ	2
LESSON 5 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(写真の説明を聞いて概要をとらえる) イ(過去の事実に関する文を読んで概要をとらえる) ウ(ある組織や個人の活動内容とその活動の重要性について説明する) ウ(あるスポーツや文化活動の国際交流について発表する)	66~77 ページ	6
LESSON 6 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(写真の説明を聞いて概要をとらえる) イ(ある主題の文を読んで類似点と相違点を整理する) ウ(比較可能な対象について類似点と相違点を挙げて対比的に説明する) ウ, エ(紙の辞書と電子辞書の類似点と相違点について書き，説明する)	80~93 ページ	7
LESSON 7 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(ある科学者に関する説明を聞いて概要をとらえる) イ(あるエピソードや実験の説明を読み，内容を理解する) ウ(ある主題についてエピソードや具体例を加えながら発表する) エ(選択したことに対する心配事について友人にメールを書く)	96~107 ページ	6
BUILDUP2	イ(ある主題の文を読んで必要な情報だけを取り出す) イ(ある主題の文を読んで主旨をすばやくつかむ)	110~111 ページ	2
LESSON 8 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(写真の説明を聞いて概要をとらえる) イ(ある建造物の文を読んで時間順にまとめる) ウ(関心のある建造物について，その特徴や建造の経緯をまとめ，発表する) ウ, エ(好きな建造物について書き，紹介する)	112~125 ページ	7
LESSON 9 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(絵の説明を聞いて概要をとらえる) イ(科学技術に関する文を読んで可能なことと不可能なことを区別する) ウ(関心のある科学技術について，その内容と現在の進展の程度を発表する) ウ, エ(100年後の科学技術について書き，発表する)	128~141 ページ	7
LESSON 10 ■ WARM-UP ■ 本文 ■ COMMUNICATION	ア(絵の説明を聞いて概要をとらえる) イ(過去と現在が対比的に述べられた文を読んで概要をとらえる) ウ(環境問題について問題点と解決策を発表する) ウ(浪費社会を変えるためのアイデアについて会話する)	144~157 ページ	7
BUILDUP3	ウ(制服の必要性について議論する) ウ, エ(写真について短い話を書き，その写真の共通点を述べる)	176~179 ページ	4
計			72

(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
SOUND PRACTICE	ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。	21, 35, 49, 63, 79, 95, 109, 127, 143, 159ページ	
READING POINT	イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。	10, 12, 14, 16, 24, 26, 28, 30, 38, 40, 42, 44, 52, 54, 56, 58, 68, 70, 72, 74, 82, 84, 86, 88, 90, 98, 100, 102, 104, 114, 116, 118, 120, 122, 130, 132, 134, 136, 138, 146, 148, 150, 152, 154ページ	
LESSON 2の COMMUNICATION		33ページ	1
LESSON 4		52-59ページ	4
LESSON 6		82-91ページ	5
LESSON 8		114-123ページ	5
BUILDUP 1	ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	64ページ	2
COMMUNICATION	エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。	19, 33, 47, 61, 77, 93, 107, 125, 141, 157ページ	10
計			27

## 「英語に関する各科目に共通する内容等」

1 言語活動を行うにあたり、[言語の使用場面の例] 及び [言語の働きの例] を以下の箇所に取り上げた。

[言語の使用場面の例]

- a 特有の表現がよく使われる場面      b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面  
c 多様な手段を通じて情報などを得る場面

[言語の働きの例]

- a コミュニケーションを円滑にする      b 気持ちを伝える      c 情報を伝える  
d 考えや意図を伝える      e 相手の行動を促す

図書の構成・内容	該当箇所	言語の使用場面	言語の働き
LESSON 1 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	8-9ページ 19ページ	b (発表) c (写真)	b (望む) c (説明する), d (推量する)
LESSON 2 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	22-23ページ 33ページ	c (絵画) b (発表)	c (説明する) d (賛成[反対]する)
LESSON 3 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	36-37ページ 47ページ	b (発表) b (議論)	c (説明する) d (対比する)
LESSON 4 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	50-51ページ 61ページ	c (絵画) b (発表)	d (想像する) d (主張する)
LESSON 5 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	66-67ページ 77ページ	c (写真) b (発表)	c (説明する) c (説明する)
LESSON 6 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	80-81ページ 93ページ	b (発表) c (写真)	c (説明する, 描写する) d (対比する)
LESSON 7 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	96-97ページ 107ページ	c (写真) a (Eメール)	c (説明する) a (あいさつする), b (心配する), e (依頼する)
LESSON 8 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	112-113ページ 125ページ	c (写真) b (発表)	c (説明する) c (紹介する)
LESSON 9 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	128-129ページ 141ページ	c (アニメ) b (発表)	c (考えを述べる) d (推論する)
LESSON 10 ■ WARM-UP ■ COMMUNICATION	144-145ページ 157ページ	c (絵画) b (発表)	d (推論する) d (主張する)

BUILDUP 3	176-179ページ	b(学校), c(写真)	c(描写する), d(主張する)
-----------	------------	--------------	------------------

## 2 言語活動を行うにあたり、指導要領に示された言語材料を以下の箇所に取り上げた。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
新出単語は学習指導要領で定められた700語をやや上回る776語とした。	ア 語、連語及び慣用表現(ア)語	201-206ページ
各課末のVOCABULARYやFOR READINGの読み物のページを学習することにより、さらに増補することができる。	b「コミュニケーション英語Ⅱ」にあつては、aに示す語に700語程度の新語を加えた語	18-19, 32-33, 46-47, 60-61, 76-77, 92-93, 106-107, 124-125, 140-141, 156-157, 160-175ページ
慣用表現の一覧を巻末に示した。	(イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの	199-200ページ
会話や発表の際に頻繁に用いられる表現については巻末にまとめた。		180-186ページ
主語+動詞(=be動詞)+補語(=that節)	イ 文構造のうち、運用度の高いもの	20ページ
主語+動詞+補語(=分詞)		34ページ
LESSONS 2, 3, 4, 6, 9 LESSON 6 LESSON 7	ウ 文法事項 (ア)不定詞の用法 (ウ)関係副詞の用法 (オ)代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの	34, 48, 62, 94, 142ページ 94ページ 108ページ
LESSONS 6, 10 LESSONS 5, 8	(キ)仮定法 (ク)分詞構文	94, 158ページ 78, 126ページ

## 3 2に示された言語材料を用いるにあたり、次の事項に配慮した。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
アメリカ英語を基本としたが、新出単語のうち発音に著しい違いがあるものについてはイギリス音を併記した。	ア 現代の標準的な英語によること。ただし、様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。	全課	44
本文中行間のL-Aなどのマーク	イ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。	全課	44
LANGUAGE FOCUS内のSTRUCTURE		20, 34, 48, 62, 78, 94, 108, 126, 142, 158ページ	10
LANGUAGE FOCUS内のEXERCISES		21, 35, 49, 63, 79, 95, 109, 127, 143, 159ページ	10
LANGUAGE FOCUS内のSTRUCTURE	ウ コミュニケーションを行うために必要となる語句や文構造、文法事項などの取扱いについては、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、実際に活用できるよう指導すること。	20, 34, 48, 62, 78, 94, 108, 126, 142, 158ページ	10
計			118

## 4 生徒が英語に触れる機会を充実させるため、以下の諸点に留意した。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
問題の指示文は英語に統一し、外国語を通じてコミュニケーションをとる授業の形態を想定した。	英語に関する各科目については、その特質にかんがみ、生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるよう十分配慮するものとする。	全課	111
計			111